



長野県モンゴル親善協会主催の「モンゴルフェスティバル in NAGANO」に参加。生徒達はゲル建てを体験。川人邦夫校長の依頼に応え、フレンドシップ大使が同校を訪問。

2000年3月にはモンゴル国2年続きの大寒波に善光寺境内で募金活動。馬頭琴奏者ハスパートルによるチャリテイコンサートを開催。52万円という多額の寄付をモンゴル国にした実績がある。

2002年には信州大学教育学部の学生が組織したボランティアサークルに同校が協力して、モンゴル国の小学生との絵画交換や紙芝居で国際交流の大切さを勉強した。

この活動に参加した同年度のモンゴルからの留学生を授業実習に受け入れた。

馬頭琴

モンゴルの遊牧民の間で古くから伝わる、二弦からなる弦楽器です。木製の台から作られ、弦は馬のしっぽの毛を束ねてできていて、弓も馬の毛を張って作ります。棒の先に馬頭が彫刻されているところから馬頭琴と呼ばれています。モンゴル語ではモリン・ホールと言います。古くから民俗音楽の伴奏のため用いられています。草原のチェロとも言われ、お祝や宴会に使われることが多く、幸運を呼ぶ縁起のいい楽器と考えられています。また、飼っている動物たち(馬、羊、ヤギ、牛、らくだ=五畜という)は、この音色を聞くとおとなしくなることで有名です。日本の小学校の国語教科書にでてくる「スーホの白い馬」物語で小学生はご存知のとおりです。

大相撲で活躍する

モンゴル力士

モンゴルには「フフ」という伝統的な相撲(相手の足裏以外の部分を地面に付けると勝ち。主に夏場、草原を会場に集まって、大会を行う)毎年、ウランバートル郊外で開催する全国大会では横綱が決まる。現在、大相撲にはモンゴル力士が白鵬、朝青龍の両横綱のほか総勢34人いる。

朝青龍は、小さい時からフフ好きで少年大会に優勝するなど強さを発揮していた。16歳になり1997年に明德義塾高校に相撲留学し、その時代から頭角を現し、その後の活躍振りは周知のとおり。

一方、白鵬の少年時代は相撲に関わりはなかったが父親がモンゴル相撲の横綱であり、アスリート一家に育ち15歳で来日、実業団相撲で知られた大阪の企業で相撲を始め、相撲部屋を探したが、当時は身体が小さいこともあって見つからず、諦めて帰国しようとした。

帰国寸前、宮城野部屋親方に見込まれて角界入り。2001年3月の序の口が初土俵。それから体格は良くなって連戦連勝。2004年入幕。3年後には横綱に昇進。朝青龍と一味違う相撲で人気があり、今や両者は日本国伝統の大相撲界における双璧となった。

事務局がのりも知らせ

○ 出展ブースのスタッフを募集しますー信州夢フェスタ2009

○ 5月30日・31日松本市やまびこドームで開催される「信州夢フェスタ2009」にモンゴルブースを出展します。

会場にはロシアコーナー、台湾ブースや全国から物産品が展示即売されます。お出かけください。

こもろ地球人まつり

○ 5月31日小諸市立美南が丘小学校で開催の「こもろ地球人まつり」に出展します。国際色豊かなステージも展開されますので、ご家族おそろいでお出かけください。

創立20周年事業(予告)

1. 「モンゴル体験5日間の旅」を募集します。多数の参加をお願いします。(次ページをご覧ください)
2. 11月11日創立20周年記念レセプションに交流を続けて来たダルハン市の労使代表を招聘して開催を予定しています。

事務所

〒380-0838 長野市東町528
TEL・FAX
026-2335-6717
<http://w2.aws.ne.jp/~mongol>

連絡は携帯090-1828-5056
(西澤 恵)へお願いします